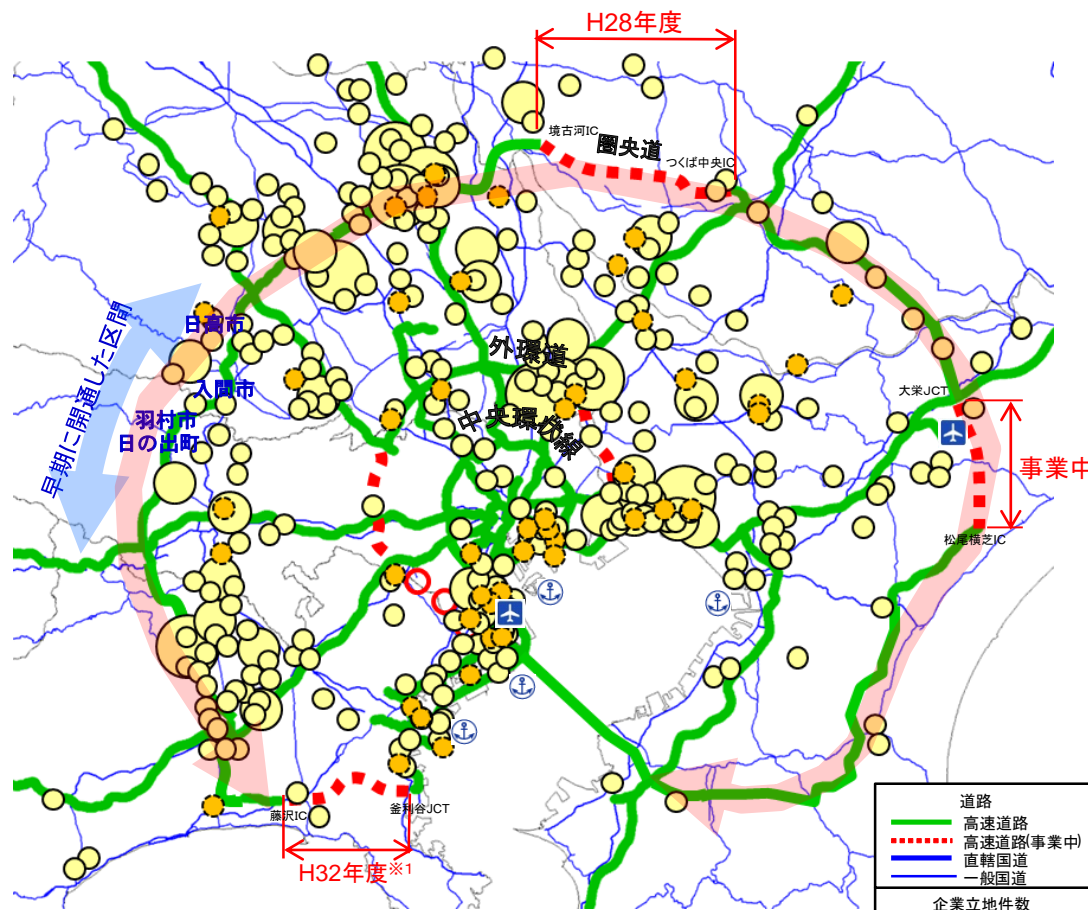


# 圏央道による効率的な物流ネットワークの強化

- 圏央道が順次開通し、放射方向の高速道路が連結されることで、効率的な物流ネットワークが形成され、民間の投資を喚起。
- 残る区間の整備により、更なるストック効果の発現が期待される。



注1: ※1区間の開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合  
 注2: 久喜白岡JCT~木更津東IC間は、暫定2車線  
 注3: 開通区間以外のIC、JCTは仮称(圏央道の坂東IC、常総ICは決定)

## 製造品出荷額の上昇

平成19年に全通した中央道~関越道間ではすでにストック効果が発現  
 早期開通区間の沿線4市町では、埼玉県と東京都の全体平均の約1.4倍

製造品出荷額の伸び率



## 圏央道沿線市町村※の新規工場立地面積(1年あたり)

